

2020年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年5月11日

上場会社名 KeePer 技研株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 6036 URL <http://www.keepercoating.jp/corp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 賀来 聡介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役事業サポート 本部長 (氏名) 小野 繁範 (TEL) 0562-45-5258
 四半期報告書提出予定日 2020年5月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第3四半期の業績 (2019年7月1日～2020年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第3四半期	6,587	7.0	992	5.0	1,001	4.8	678	14.0
2019年6月期第3四半期	6,156	14.3	945	41.2	955	39.8	594	39.1
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年6月期第3四半期	47.98		47.95					
2019年6月期第3四半期	42.18		42.07					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第3四半期	8,051	5,595	69.5
2019年6月期	7,838	5,086	64.9

(参考) 自己資本 2020年6月期第3四半期 5,595百万円 2019年6月期 5,086百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2020年6月期	—	0.00	—	—	—
2020年6月期(予想)	—	—	—	13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年6月期の業績予想 (2019年7月1日～2020年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,156	10.0	1,400	8.8	1,402	7.8	910	7.7	64.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

上記の業績予想については、新型コロナウイルス感染症の影響を4月は受けましたが、お客様の「車をきれいにして長く乗りたい」というマインドは高まっており、業績予想の変更をしておりません。今後、業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年6月期3Q	14,140,420株	2019年6月期	14,102,020株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2020年6月期3Q	141株	2019年6月期	122株
------------	------	----------	------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年6月期3Q	14,132,078株	2019年6月期3Q	14,101,942株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日において、当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき策定したものであり、実際の業績等は様々な要因により予測数値より大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）P4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(2019年7月1日から2020年3月31日)における我が国の経済は、緩やかな回復基調で推移したものの、世界的な通商問題による下振れリスク等により、先行きは不透明な状況が続きました。直近では、新型コロナウイルス感染症の拡散により国内外の経済が影響を大きく受け景気及び先行きは不透明な状況となっております。

このような環境の中、当社ではユーザーに提供されるKeePerコーティングの品質の維持・向上を従来以上に実現していくことが、当面の業績を向上させるだけでなく、将来に向けての発展を目指したKeePerブランドのブランディングを確実にしていくために最も重要であると考えています。

当第3四半期会計期間(2020年1月から2020年3月)におきましては、売上高17億57百万円(前年同期比4.7%増加)、営業利益1億43百万円(同42.2%増加)となり、カーコーティングに関わる事業において、例年1月～3月は需要が低くなる時期ですが、昨年引き続き黒字転換を果たし、増収増益を果たすことが出来ました。

その主な要因は、昨年実施したテレビCMやWeb広告の効果が続いて、KeePerの認知度が着実に上がってきており、ダイヤモンドキーパー類などの高額商品の需要が高くなっております。その中でも最上級メニューである、WダイヤモンドキーパーやWダイヤモンドキーパープレミアムを、選ばれる方がキーパーLABOのみならず、全国のキーパープロショップにも波及し施工台数が増加しております。

それに加え2月よりキーパーLABOにて先行発売を開始し、新車用カーコーティング「EXキーパー」が、ほとんど宣伝活動をしていないにもかかわらず販売が好調で、高付加価値、高価格のコーティングの伸びが著しくコーティングの平均単価を押し上げております。

この「EXキーパー」はまだまだ販売をスタートしたばかりで、今後は新しいニーズと大きな可能性を秘めております。KeePerの最新コーティング「EXキーパー」を今後は積極的に広告活動を実施してまいります。

その結果、当第3四半期累計期間(2019年7月から2020年3月)におきましては、売上高65億87百万円(前年同期比7.0%増加)、営業利益9億92百万円(同5.0%増加)となりました。

① (キーパー製品等関連事業)

当事業における最も大きなシェアを占めている石油販売業界は、新型コロナウイルス感染症の拡散により、自粛モードでお客様の外出が減り本業である燃料油販売数量の低下が続いております。

当然、店舗への来店が減っており、タイヤやオイルなど燃料油以外の商品の販売も減少しておりますが、この状況においてもKeePer製品については前年を上回る商品として、これまでと同様に大きく期待されています。

それに加えて、カーメーカーやカーディーラーなどの自動車業界への進出は、当社の得意分野でもある技術研修をカーディーラーの方へ実施し、内製化での導入と、コーティング技術1級技術者である当社社員が、カーディーラー店舗へ出張し、コーティングサービスを提供すること(デリバリーサービス)も同時に進めており着実に実績として表れております。

また、VTホールディングス株式会社との資本業務提携をした事で、子会社であるディーラーにもKeePerの導入が着実に進んでおります。同時に、中古車業界やルームクリーニング・建築・通信業界など自動車業界以外にも販路の窓口が拡がりつつあります。

そして、毎年この時期に行われるキーパー技術コンテストは新型コロナウイルスの感染症が拡大している状況を考え、また、出場選手の健康と安全を最優先に考え、開催を中止いたしました。

この2月～4月にかけてキーパーのインストラクターは、ほぼ技術コンテストの運営に力を使っていましたが、今年はその時間を使って、キーパープロショップに全店訪問し、2月から新発売した「EXキーパー」の紹介として「EXキャラバン」と称し全営業がキーパープロショップへの活動をいたしました。

その結果、EXキーパーの技術を伝える「EXキーパースクール」の受講が進み、EXキーパーの取扱可能な「EXキーパープロショップ」が225店舗になりました。受講希望店舗も増えており、今後は更にEXキーパープロショップの店舗数の増加が加速していきます。

これらの活動の結果、当セグメントの当第3四半期累計期間における売上高は35億30百万円(前年同期比1.6%増加)、セグメント利益は8億95百万円(同0.1%減少)となりました。ただし、内部取引による利益が1億80百万円含まれており、内部取引控除後の利益は7億14百万円(同6.2%減少)となります。

② (キーパーLABO運営事業)

キーパーLABO運営事業については、前期より1月こそ暖冬の影響からか降雨量が多く少し苦しめられたものの、2、3月ともに好調に推移しております。

特にダイヤモンドキーパー類が伸びており、ダイヤモンドキーパーが18%増加、Wダイヤモンドキーパーが20%増加、Wダイヤモンドキーパープレミアムが25%増加と施工台数が大幅に増加しています。店舗スタッフに聞くと、昨年を実施したテレビCMやWeb広告の効果が続いて、KeePerの認知度が着実に上がってきている事、そして「SNSの評判を見て」や「友人からの紹介」などの施工が多くありました。

加えて、2月22日より販売を開始した、新車用カーコーティング「EXキーパー」は、先行販売という事で販促活動はしていないのですが販売が順調で、3月末までで222台の施工が出来、売上で約30百万円増と大きなプラスとなりました。EXキーパープレミアムは約20万円する高付加価値のコーティングですが、お客様からは「このようなコーティングを待っていた」という声も多くあり、高付加価値コーティングの需要の高さを大きく感じる事が出来ました。更に、新車用とした事で、今までキーパーLABOに来ていなかった新たなニーズも感じており、今後に大きな期待が出来ます。

これらの活動の結果、当第3四半期累計期間(2019年7月1日から2020年3月31日)における平均単価は、前期9,429円から当期11,214円と19.0%増加と大きく押し上げています。

現在の、新店の開発状況と、既存店の改装と新ブランディングデザインへの変更も多数の店舗で計画がされております。

2020年4月29日	東京都小平市 小平店	オープン
2020年6月オープン予定	愛知県名古屋市長和店(仮称)	建築確認申請中
2020年8月オープン予定	鹿児島県鹿児島市 鹿児島店(仮称)	建築確認申請中

既存店の改装と新ブランディングデザインへの変更

愛知県	鳴海店	リブレイス店(8月実施済)
東京都	足立店	新ブランディングへ変更(8月実施済)
愛知県	東郷店	洗車場、仕上げ場の全面改装&拡大(10月実施済)
神奈川県	綱島店	仕上げ場増設(11月実施済)
愛知県	東海店	新ブランディングへ変更(12月実施済)
愛知県	名古屋東店	仕上げ場増設(4月実施済)
福島県	郡山店	ブース増設(4月実施済)
愛知県	中川店	外装変更、新ブランディングへ変更(4月実施済)
三重県	名張店	内装・外装変更、新ブランディングへ変更(4月実施済)
大阪府	交野店	外装変更
愛知県	豊田店	ブース増設、新ブランディングへ変更
神奈川県	上溝店	新ブランディングへ変更
愛知県	一宮店	全面改装
埼玉県	草加店	新ブランディングへ変更
愛知県	大府店	ブース増設、新ブランディングへ変更
埼玉県	浦和美園店	新ブランディングへ変更
千葉県	船橋店	新ブランディングへ変更
愛知県	知立店	敷地借増し店舗拡大
愛知県	大須店	敷地借増し店舗拡大

これらの活動の結果、当セグメントの当第3四半期累計期間(2019年7月1日から2020年3月31日)における売上高は30億57百万円(前年同期比14.0%増加)、セグメント利益は2億77百万円(同51.3%増加)となりました。ただし、内部取引による費用が1億80百万円含まれております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ2億12百万円増加し、80億51百万円となりました。これは主として、現金及び預金が3億27百万円増加、土地売却等により有形固定資産が1億17百万円減少したこと等によるものです。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ2億96百万円減少し、24億55百万円となりました。これは主として、買掛金が67百万円減少、未払金が38百万円減少、未払法人税等が1億54百万円減少、長期借入金が37百万円減少したこと等によるものです。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ5億9百万円増加し、55億95百万円となりました。これは主として利益剰余金が四半期純利益により5億8百万円増加したこと等によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年6月期の業績予想につきましては、2019年8月9日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,355,112	2,682,983
受取手形	157,820	109,244
売掛金	667,901	635,593
商品	565,417	520,044
貯蔵品	26,284	28,129
前払費用	112,294	182,784
その他	9,790	58,335
貸倒引当金	△249	△248
流動資産合計	3,894,372	4,216,866
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,247,340	2,211,187
構築物（純額）	162,002	155,649
機械及び装置（純額）	91,281	83,203
車両運搬具（純額）	27,155	36,537
工具、器具及び備品（純額）	124,033	121,928
土地	458,140	375,641
建設仮勘定	8,404	16,687
有形固定資産合計	3,118,359	3,000,835
無形固定資産		
ソフトウェア	33,754	28,709
その他	24,461	33,498
無形固定資産合計	58,215	62,207
投資その他の資産		
投資有価証券	16,333	15,203
長期前払費用	29,151	24,868
敷金及び保証金	314,630	314,548
建設協力金	202,386	199,299
保険積立金	12,684	12,276
繰延税金資産	192,372	205,258
その他	370	286
貸倒引当金	△360	△276
投資その他の資産合計	767,569	771,464
固定資産合計	3,944,143	3,834,507
資産合計	7,838,516	8,051,374

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	278,271	211,042
1年内返済予定の長期借入金	45,575	256,704
未払金	258,447	220,302
未払法人税等	330,681	176,085
未払費用	150,867	120,426
賞与引当金	24,519	98,076
その他	92,120	23,537
流動負債合計	1,180,482	1,106,174
固定負債		
長期借入金	994,600	746,101
退職給付引当金	229,829	251,885
役員退職慰労引当金	237,538	239,376
資産除去債務	105,718	107,976
その他	4,043	4,043
固定負債合計	1,571,729	1,349,382
負債合計	2,752,211	2,455,557
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,345,867	1,347,557
資本剰余金	1,007,224	1,007,224
利益剰余金	2,732,634	3,241,457
自己株式	△121	△142
株主資本合計	5,085,604	5,596,096
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	700	△279
評価・換算差額等合計	700	△279
純資産合計	5,086,305	5,595,816
負債純資産合計	7,838,516	8,051,374

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2018年7月1日 至2019年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自2019年7月1日 至2020年3月31日)
売上高	6,156,100	6,587,949
売上原価	1,575,270	1,586,207
売上総利益	4,580,830	5,001,741
販売費及び一般管理費	3,635,443	4,009,516
営業利益	945,386	992,225
営業外収益		
受取利息	799	866
受取配当金	180	189
為替差益	—	6,473
受取手数料	5,007	4,201
受取保険金	9,211	816
その他	2,030	1,100
営業外収益合計	17,229	13,648
営業外費用		
支払利息	5,000	4,425
為替差損	1,789	—
その他	389	—
営業外費用合計	7,178	4,425
経常利益	955,437	1,001,448
特別利益		
固定資産売却益	2,314	36,592
特別利益合計	2,314	36,592
特別損失		
災害による損失	3,765	—
固定資産除売却損	29,820	516
特別損失合計	33,586	516
税引前四半期純利益	924,165	1,037,524
法人税、住民税及び事業税	365,943	371,937
法人税等調整額	△36,660	△12,458
法人税等合計	329,283	359,478
四半期純利益	594,881	678,045

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期累計期間(自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	キーパー製品等関連事業	キーパーLABO運営事業	
売上高			
外部顧客への売上高	3,474,269	2,681,830	6,156,100
セグメント間の内部 売上高又は振替高	224,158	—	224,158
計	3,698,428	2,681,830	6,380,259
セグメント利益	896,716	183,274	1,079,991

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,079,991
セグメント間取引消去	△134,604
四半期損益計算書の営業利益	945,386

(注) セグメント間の内部売上高224,158千円は、キーパー製品等関連事業から、キーパーLABO運営事業に対するものです。キーパー製品等関連事業のセグメント利益896,716千円には、セグメント間の内部売上高による利益134,604千円を含んでおります。

当第3四半期累計期間(自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	キーパー製品等関連事業	キーパーLABO運営事業	
売上高			
外部顧客への売上高	3,530,796	3,057,152	6,587,949
セグメント間の内部 売上高又は振替高	284,608	—	284,608
計	3,815,405	3,057,152	6,872,557
セグメント利益	895,634	277,244	1,172,878

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,172,878
セグメント間取引消去	△180,653
四半期損益計算書の営業利益	992,225

(注) セグメント間の内部売上高284,608千円は、キーパー製品等関連事業から、キーパーLABO運営事業に対するものです。キーパー製品等関連事業のセグメント利益895,634千円には、セグメント間の内部売上高による利益180,653千円を含んでおります。